

地域に生きる学校

福井市国見小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

| 項目 | 回数 |
|---------------|-----|
| 地域・学校協議会 | 3回 |
| 中学校区を単位とした協議会 | 7回 |
| 地域及び家庭への学校公開 | 10回 |

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

| | |
|-------------------|-----|
| 講師・ゲストティーチャー | 5人 |
| 授業ボランティア（含：低ボラ） | 8人 |
| 登下校支援ボランティア | 80人 |
| その他（駐在所所長・郵便局長など） | 5人 |

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

○「ふるさと学習」に関する取組

本校では家庭・地域と連携し、地域との関わりを大切にした「ふるさと学習」を実施している。具体的には、1・2年生の生活科、3～6年生の総合的な学習、公民館主催の地域探訪（国見の宝さがし）等を通じて、自然・文化・歴史・人からふるさとについて学び、人々とのふれあいを通して地域・人に対する思いやりの心を持った児童を育てたいと思っている。そして、ふるさとを誇りに思い、将来、自信を持ってこの国見を語る人間に育てたいと考える。

この学習では、「ふるさとのよさを見つけようとする関心を高め」、「ふるさとに関する理解を深める」とともに、「ふるさとのために、何ができるかを考える力を伸ばす」ことをねらいとしている。同時に、自ら課題を見つける力、考える力、問題を解決する力、まとめ・表現する力などを身につけ、児童の「生きる力」につなげていきたいと考えている。主な学習内容としては、①地域の自然・地理 ②地域の歴史・文化 ③地域の産業・先賢 ④地域の人々とのふれあい体験 があり、それぞれに豊かな体験活動を実施している。

○「神楽の舞 ミニ公演会」

今年度の中心となる取組として、10月23日（日）に開催した「神楽の舞 ミニ公演」を紹介する。上記「②地域の歴史・文化」に関する学習の1つである。白浜・国見・鮎川・大丹生・小丹生の各地区で伝承してきている神楽囃子等の伝統芸能を鑑賞して、これまで、地区の人々によって保存され、大切に引き継いできている神楽囃子等のふるさとの伝統芸能への関心を高め、地区の宝物として、これから自分たちも後継者となり、大切に伝承していこうとする心を育むことをねらいとしている。

公演当日は、児童・生徒だけでなく、地区の方々を含め250名を超える参加者があり、大盛況となった。



成果と課題

○地域の方々の温かいご理解とご支援のもと、児童に多くの豊かな体験を経験させることができた。「地域に誇りをもつ」児童の育成につながったと考える。

☆学校での取組をより一層地域に発信していく方法として、今後は学校での活動について企画の段階から参加していただくことも検討していく必要がある。